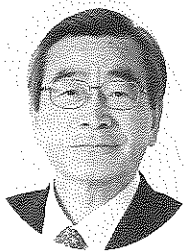


福島退公連 会報

発行日 令和6年(2024年)4月20日
発行者 室井 勝
発行所 福島県退職公務員連盟
〒960-8043 福島市中町5-21(消防会館)
TEL・FAX 024(522)0612
URL <https://fukushima-taikouren.com>



ご挨拶

会長 室井 勝

令和6年度を迎え、会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

です。そして、より良い制度を「次世代に引き継いでいくこと」は私たちの責務です。

特に、年金制度の改革に当たっては、「現在および将来の年金給付が高齢者の生活を支える資金であり続けること」を願って活動しなければなりません。

退公連活動について

昨年度は各支部の皆様には、ここ数年続くコロナ禍の中で、空洞化が懸念された退公連活動の通常化を強くお願いしてきました。

日公連・退公連は創立以来75年を経過しました。本年度は、縮小を余儀なくされた退公連活動や「65歳定年制の実施」などの退公連を取り巻く環境を踏まえながら、組織の維持とその強化を目指していきたいと思います。そして、会員加入の促進と併せて人生100年時代の中で、「入ってよかった」という退公連をつくりあげるために、原点にかえり退公連活動の再確認と再構築をしていきたいと思います。

組織拡大について

昨年度は125名の新入会員をお迎え出来ました。うれしいことに一昨年度を超えました。新入会員の皆さんを心から歓迎致します。そして、各支部の組織強化へのご尽力にお礼を申し上げます。

一方、会員総数は4,525名と前年に比し299名減少致しました。会員の皆様には65歳定年制の実施など厳しい状況の中ではありますが、日公連令和6年度組織拡充計画にもあるように、「一人が一人を勧誘する」との心構えで、あらゆる機会をとらえ、会員勧誘に取り組んでいききたいと思います。

日公連・退公連の要望について

要望活動は、私たちの生の声を国に届ける重要な行動です。

令和6年度の要望のポイントは

- ① 現在、官民ともに「働き方改革」が大きな課題となっています。特に教員をはじめとして応募者が減少しているなどの状況の中で、公務の場における「働き方改革と環境の整備」の必要性
- ② 物価高騰により生活が脅かされている現状への対応策
- ③ 令和6年度は5年に1度の年金の財政検証の年に当たります。財政検証と実施中のマクロ経済スライドの抱える課題などを注視して対応していかなければなりません。

少子高齢社会で、かつ人口減が続く中で年金・医療・介護等の将来について、日公連・退公連に結集し一緒に私たちの声を届けていくことが大事

入会勧誘と併せ中途退会者を減らすためには、魅力ある支部活動への工夫も大切だと思います。

退公連は皆様の年金をはじめ社会保障制度の維持のためこれからも頑張りますので、高齢会員の皆様には、会員としてまだまだ退公連に留まり、是非応援していただきたいと思います。

忘れもしないあの東日本大震災並びに原子力発電所の大事故から13年が経過致しました。「私たちは忘れません。あなた方を！」を心に被災・避難会員との絆を継続して参ります。

最後に、何よりも会員の皆様のご健康を祈念致します。

そして、「われらの信条」の精神を改めて思い起こされて、原点にかえり、「あきらめない気持ち」「活動への情熱」を心に持って、会員が一体になった退公連をつくり上げていききたいと思います。

令和6年度 評議員会

令和6年度の評議員会は、4月15日(月)に開催され、令和6年度の事業計画・歳入歳出予算案が承認されました。

〈事業計画の基本方針〉

1. 「退職後の安全・安心な暮らしを守る」との退公連として組織創立の原点に戻り、会員勧誘の推進を積極的に推進する。
2. 会員勧誘に当たっては65歳定年制の実施を踏まえ、職場・地域など、あらゆる人脈を総動員して行う。
3. 退公連活動状況をホームページで発信するのをはじめ地元新聞等への掲出依頼など、「退公連活動の見える化」に取り組む。
4. 年金等の社会保障制度の現状や課題の広報・周知と要望活動を実施する。
5. 社会・公共のニーズにも配慮した福祉関連事業・社会貢献活動を推進する。

6. 東日本大震災後13年経過したが、被災・避難会員との絆を大切にするとともに、全国各地で発生する自然災害に対しても連携を強める。

令和6年度 主な事業計画の概要

月 日	年間行事予定
4月15日	評議員会(各支部長等)
5月13日	第1回理事会(会長・副会長等)
5月20日	支部連絡会議(各支部事務局長)
8月	〈国会議員への夏期要望活動〉
8月19日	第2回理事会(会長・副会長等)
9月5日	県大会「福島大会」
9月26日	東北地区協議会(秋田)
10月16日	〈国会議員への要望活動〉
10月17日	日公連全国大会(会長・3支部等)
12月8日	第3回理事会(会長・副会長等)
3月14日	第4回理事会(会長・副会長等)

〈令和5年度 歳入歳出決算の概要〉

[歳入の部] 単位 円

科 目	決 算 額	付 記
1. 支部負担金	4,767,000	会費収入
2. 繰入金	200,000	積立金からの繰入
3. 繰越金	585,771	前年度からの繰越
4. 諸収入	492,154	手数料等
歳入合計	6,044,925	

[歳出の部] 単位 円

科 目	決 算 額	付 記
1. 事務費	3,345,673	事務経費等
2. 負担金	583,000	日公連分担金等
3. 事業費	1,426,070	
(1)役員会費	155,978	理事会開催経費
(2)全国大会費	224,250	全国大会参加経費
(3)県大会費	0	
(4)事業活動費	491,628	支部連絡会議等
(5)会報発行費	451,640	会報4回発行費
(6)表彰慶弔費	102,574	百歳賀寿贈呈
4. 積立金	200,000	
5. 予備費	0	
歳出合計	5,554,743	

〈令和6年度 歳入歳出予算の概要〉

[歳入の部] 単位 円

科 目	予 算 額	付 記
1. 支部負担金	4,472,000	会費収入
2. 繰入金	400,000	積立金からの繰入
3. 繰越金	490,182	前年度からの繰越
4. 諸収入	433,000	手数料等
歳入合計	5,795,182	

[歳出の部] 単位 円

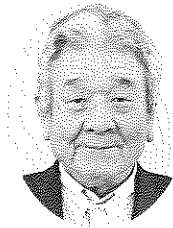
科 目	予 算 額	付 記
1. 事務費	3,443,000	事務経費等
2. 負担金	542,000	日公連分担金等
3. 事業費	1,755,000	
(1)役員会費	152,000	評議員会・理事会等
(2)全国大会費	185,000	全国大会参加経費
(3)県大会費	400,000	県大会「福島大会」費
(4)事業活動費	458,000	支部連絡会議等
(5)会報発行費	460,000	会報4回発行費
(6)表彰慶弔費	100,000	支部表彰等
4. 積立金	0	県大会開催経費
5. 予備費	55,182	
歳出合計	5,795,182	

歳入歳出差し引き額 490,182円は次年度へ繰り越し

支部
これから

「会津坂下支部の今」

会津坂下支部長 佐藤 孝信



新型コロナが第5類へと移行したことにより、会津坂下支部では、これまで実施を見送ったり、縮小したりしていた事業を少しずつ復活させて実施しています。

その中でも、新入会員歓迎懇親会を兼ねた健康レクの只見線を用いての旅を、昨年度の「三島へ」から「金山へ」と足を伸ばし実施しました。只見線には観光客の方も多く、車窓から見える美しい奥会津の風景を堪能しました。そんな光景を目にすると、11年間かけても只見線が再開されたことを、嬉しくかつ誇らしく感じたところです。

さて、奥会津の旅で我々が訪れたところは、金山町の「妖精美術館」です。森に囲まれた沼沢湖の辺にあり、まるで洋館のようなたたずまいです。館内に入ると天野喜孝さんが手がけたという6メートルの豪華なステンドグラスが目に入ってきます。当日は「花の妖精展」が開催されており、美しい花の絵に訪れた女性会員からは「かわいい」という声が聞かれました。非日常的な世界に入り

込むとは、まさにこういうことだろうと思える空間でした。

続いて、玉梨温泉恵比寿屋へと移動し、おいしい料理をいただきながら会員同士の交流を深めました。

わずか半日ほどの小さな旅ではありましたが、互いの状況を語り合い、楽しい時間を過ごしました。このような時間を会員が共有できる機会を増やすべきだよなどと心から思えたひとときでした。



ふれあい

「学校の応援団」

大沼支部 地区委員 岩澤 一徳



大沼支部には、会津美里町地域学校協働本部が運営する「学校の応援団」という組織に登録している方がたくさんいらっしゃいます。その皆様は町内のこども園や小・中学校から要請を受け、学習活動

や体験活動等の支援を行っています。

「学校の応援団」は、平成30年に地域社会と学校が一体となって子どもを育てることをめざして設立されたもので、昨年度、本支部会員は次のような支援活動を行いました。

- こども園の自然遊び・自然観察の講師
- 小学校家庭科のミシン操作指導の補助
- 中学校での書写指導、技術・家庭科のミシン操作、調理実習、人形作り等の指導の補助
- 中学校の保健体育科の授業で女性教員に代わり柔道の指導
- 中学校の夏季学習会での学習指導
- 地域学校協働本部主催の小学生夏休み学習会で

の学習指導、理科実験教室の講師

- 放課後子ども教室での様々な体験活動（ペットボトル飛ばし等の科学遊び、縄跳び講習会等）の講師

応援団登録者は自分の専門性と元教員という経験を生かし、教室や活動場所において児童生徒との触れ合いを楽しみながら指導・支援に当たっています。会員にとってはやりがいと生きがいに通じる活動です。一方、支援を受ける側の学校にとっても指導の目が行き届き、作品等の質が向上するなど学習成果が高まる、教員の負担が少なくなるといったメリットがあるようです。

本会は、上記以外にも福祉部が特別養護老人ホームの訪問等の活動も行ってきました。今後、コロナ禍前の活動に戻せると思います。退公連組織の高齢化や新人会員の減少などの課題もありますが、会員一人ひとりが健康寿命を伸ばし、地域社会の一員として社会貢献につながる活動を今後とも広げていきたいと思ひます。

<年金情報コーナー>

令和6年度の年金額は2.7%の引上げ

令和6年度(2024年度)の年金額は、令和5年度から2.7%引上げられます。

実際の引上げは令和6年6月の支給分からとなります。(年金は年6回、偶数月に前月と前々月の分がまとめて支給されるため、4月と5月分は6月支給となる。)

令和6年度の年金額の例

	令和5年度 (月額)	令和6年度 (月額)
国民年金 ^{*1} (老齢基礎年金(満額):1人分)	66,250円	68,000円 (+1,750円)
厚生年金 ^{*2} (夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額)	224,482円	230,483円 (+6,001円)

※1 昭和31年4月1日以前生まれの方の老齢基礎年金(満額1人分)は、月額67,808円(対前年度比+1,758円)です。

※2 平均的な収入(平均標準報酬(賞与含む月額換算)43.9万円)で40年間就業した場合に受け取り始める年金(老齢厚生年金と2人分の老齢基礎年金(満額))の給付水準です。

年金額は、物価や賃金の変動に応じて、毎年度改定されますが、「物価変動率>名目手取り賃金変動率」の場合は、支え手である現役世代の負担能力に応じた給付とする観点から名目手取り賃金変動率を用いるとされています。

また、これに加え将来世代の年金の給付水準を確保するためのマクロ経済スライドによる調整が行われます。

令和6年度の場合

まず、「物価変動率3.2%>名目手取り賃金変動率3.1%」なので、3.1%を採用し、これに、マクロ経済スライドによる調整率-0.4%を加え、計2.7%の引上げです。

引上げとはいえマクロ経済スライドによる調整があり、実質的には目減りすることになります。

年金財政は、基本的に現役世代の保険料で支えられています。現役世代の雇用が安定し、賃金も上がれば年金財政も安定します。今年は賃金が上昇するとの良い情報もあります。物価と賃金の好循環で日本経済がより良くなるよう期待するものです。

++++【事務局だより】++++

令和6年度能登半島地震災害被災会員への義援金募金について

この度の能登半島地震災害に対しては、国の激甚災害の指定となり、日公連ではこれまでの取扱いと同じく災害に対する義援金を被災会員に贈ることとして、募金依頼がありました。

現在、各支部においてそれぞれ取り組みをいただいていますので、ご協力お願いいたします。

◎今後の予定

- 5月13日(月) 第1回理事会
- 5月20日(月) 令和6年度支部連絡会議
- 場 所 郡山市 ビッグパレット

.....編集後記.....

東日本大震災から13年が過ぎました。未だ多くの会員の方々が県内外での避難生活を強いられています。被災・避難された皆様「私たちは忘れません あなた方を」

コロナが2類から5類に移行し1年が経過しようとしています。これからも十分気を付けていかなければと思います。

今年度も皆様のご協力をよろしく願います。

